

科目名	心理学的支援法			ナンバリング	PSY433	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	窪田文子	担当教員					

授業の概要	本授業では、心理学的支援の方法とそれに伴う様々な責任と配慮について解説する。具体的には以下の内容を扱う。 ①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応や限界 ②訪問による支援や地域支援の意義 ③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法 ④プライバシーへの配慮 ⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援 ⑥心の健康教育						
到達目標	①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応や限界を説明できる。 ②訪問による支援や地域支援の意義を説明できる。 ③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を実践できる。 ④プライバシーへの配慮とはどのようなことか、またその適切な対応について説明できる。 ⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について説明できる。 ⑥心の健康教育の目的と方法について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	授業で提示するスライドを単に書き写すだけでなく、それについての説明も自分なりに工夫してメモし、内容を自分の言葉で説明できるようになることが望ましい。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応や限界を概ね説明できる。 ②訪問による支援や地域支援の意義を概ね説明できる。 ③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を概ね実践できる。 ④プライバシーへの配慮とはどのようなことか、またその適切な対応について概ね説明できる。 ⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について概ね説明できる。 ⑥心の健康教育の目的と方法について概ね説明できる。	①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応や限界を明確に説明できる。 ②訪問による支援や地域支援の意義を明確に説明できる。 ③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を適切に実践できる。 ④プライバシーへの配慮とはどのようなことか、またその適切な対応について明確に説明できる。 ⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について明確に説明できる。 ⑥心の健康教育の目的と方法について明確に説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
最終レポート	○	○					60%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○		○				40%
授業態度・授業への参加							
出席							遅刻や欠席は減点となることがある。

課題、評価のフィードバック	1. 毎回授業後に提出を求める振り返りのレポートについては、manabaを通してコメントする。また質問や疑問がでた場合には、次の授業でフィードバックする。 2. 最終レポートについては、学生の要請があった場合いつでも開示できるように準備しておく。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	心理学的支援法について	心理学的支援法とは何かについて解説する。	
	第2回	心理療法・カウンセリングの歴史	心理療法とカウンセリングの歴史について概観し、代表的な心理療法やカウンセリングの歴史的展開について解説する。	
	第3回	心理療法・カウンセリングの概念、意義、適応と限界1	心理療法とカウンセリングの概念、意義、適応と限界について解説する。	
	第4回	心理療法・カウンセリングの概念、意義、適応と限界2	心理療法とカウンセリングの概念、意義、適応と限界について解説する。	
	第5回	心理療法・カウンセリングの概念、意義、適応と限界3	心理療法とカウンセリングの概念、意義、適応と限界について解説する。	
	第6回	訪問による支援や地域支援の意義1	訪問による支援や地域支援の意義について解説する。	
	第7回	訪問による支援や地域支援の意義2	訪問による支援や地域支援の意義について解説する。	
	第8回	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法1	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について解説する。	
	第9回	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法2	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について解説する。	
	第10回	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法3	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について解説する。	
	第11回	プライバシーへの配慮	プライバシーへの配慮とその方法について解説する。	
	第12回	心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援	心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について解説する。	
	第13回	心の健康教育1	心の健康教育の対象について解説する。	
	第14回	心の健康教育2	心の健康教育の方法について解説する。	
	第15回	まとめ	14回の学修を基に、心理学的支援法について理解したことをレポートにまとめる。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。		
授業外学習の指示		授業後はノートを見返して内容を整理し、わからない所は調べるなどして復習し、次回の授業に臨むこと。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	教科書を使用しない。
参考書	授業内で適宜紹介する。
参考URLなど	
その他	